

湯の山かもしか大橋 開通



渡り初めは、地元の約四千人が訪れた。四日市市街地の街並みを背に記念撮影

渡り初め 家族ら楽しむ

菟野町の県道湯の山温泉線と国道477号を結ぶ県道「湯の山かもしか大橋」が二十四日、開通した。直前には、車道を歩く「渡り初め」があり、家族連れらが真新しい道路の感触や伊勢湾の景色を楽しんだ。(高島碧)

上真新しい道路の上で記念撮影する子どもら
開通した湯の山かもしか大橋
開通した湯の山かもしか大橋
開通した湯の山かもしか大橋

年葛山島暉君(むね)は「太郎常務(とく)は」「ばい家が見下ろせる景色が、にも強い町になった。来年あつて楽しんで話した。は新名神高速道路の菟野ノ午後三時には、一般車両の開通が始まり車が二斉に走り出した。橋は長さ三百六十九メートル、幅九メートル、高さ六十四メートル。片側一車線で、伊勢湾を望む時期によっては橋から来た車との混雑が予想される。事業は二〇一九年に始まる。今週初めに完了し、架設協会は、行楽シーズン、総工費は三十七億円。の十月下旬から一カ月間、八年に県道湯の山温泉線が土砂崩れで通行止めになり、温泉街が孤立した。住民や観光客の安全確保のため、尾に誘導する方法を検討しているという。町観光産業課の担当者は「初めてで、うなるかわからないが、渋滞解消のために尽力したい」と話す。

